PEE WEE EXPEDITION SERIES

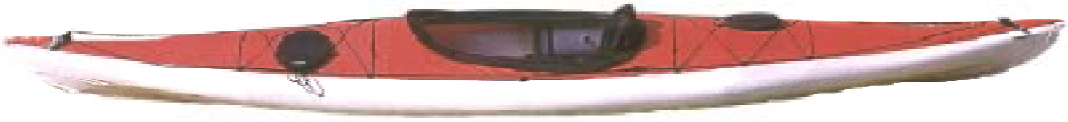
世界初ファイバーグラスポール使用

取り扱い説明書

ご使用にあたっては、この取り扱い説明書、および添付のセイフティーカヌーイングをよくお読みのうえ、あなたのカヌーライフの良きパートナーとしてご愛用下さい。

INSTRUCTION MANUAL

PEー1 370 SWIFT (スイフト)
PEー1 375 SUPERIOR (スペリオ)
PEー1 400 SUPERIOR (スペリオ)
PEー1 480 SUPERIOR (スペリオ)
PEー1 430 TREK (トレック)
PEー1 500 SEASHORE (シーショア)



株式会社フジタカヌー研究所

〒619－1303 京都府相楽郡笠置町佐田

TEL 0743－95－2507

FAX 0743－95－2962

http://www2.osk.3web.ne.jp/~canoe/

mail canoe@osk2.3web.ne.jp

安全上のご注意〔必ずお守り下さい〕

お読みになる前に

- ■ 「安全上のご注意」では、フジタカヌーの製品をご使用になる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な注意事項を説明しています。
- ■ 安全にかつ正しく使用して頂くために、以下に記載されている注意事項・組立方法・使用方法を繰り返して読み、よく理解してから使用して下さい。また他の人に貸与する場合には、「この取り扱い説明書」および「セイフティーカヌーイング」を必ず一緒に貸与し、よく読み理解する様に指導して下さい。
- ■ 「取り扱い説明書」「セイフティーカヌーイング」は、大切に保管し繰り返し読むようにして下さい。
- ■ 不明な点、分からない点等がありましたら、お買い求めの販売代理店または、フジタカヌー研究所（０７４３－９５－２５０７）までお気軽にお問い合わせ下さい。
- ■ 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、次の通り「危険」「警告」「注意」の３つに分類しています。

⚠ 危険　**誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生 じる事が想定される」内容です。**

⚠ 警告　**誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる事が想定される」内容です。**

⚠ 注意　**誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性または、物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。**

⚠ 危険 急流・激流・外洋での使用禁止

フジタカヌー研究所の製品は、ゆったりとした川の流れ、または沿岸沿いの海や湖をのんびりと自然を感じ・楽しみながらツーリング（旅）するために造られており、すすんで急流・激流・ 外洋等で使用するためのではありません。 万一そのような危険が想定される場合または、危険な個所はツーリングの停止ま たは回避して下さい。
また外洋へは、絶対出ないで下さい。

⚠ 警告 悪天候・悪条件での使用禁止

天候が安定していない時・海や湖で沖出の風（オフショアー）の時には、出艇しないで下さい。 遭難の危険性があります。

⚠ 注意 指つめ等部品の取り扱い注意

組立の時パイプのジョイント部で指など詰めないように注意して下さい。 同様にテンション金具（”く”の字型に折れ曲がる部分）・突起している金具・パイプなど細長い部品等、指詰め・負傷を負う危険性があります。 部品を振り回したり、投げたりしない様取り扱いには十分注意して下さい。

「人間の力は、自然の中にあっては、無力であり、自然の力にはどんな強靭な人間であっても勝つ事はできない」という事を理解し正しい判断力を身につける様に常に心がけて下さい。

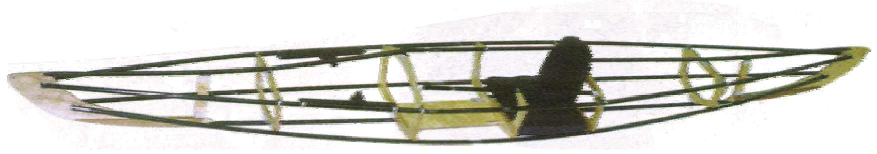
⚠ 警告

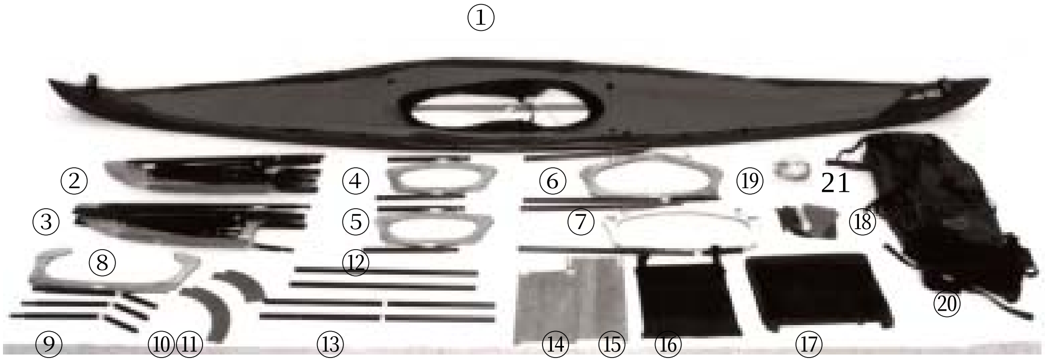
カヌー（パドルスポーツ）は、場合によっては、危険で死傷を引き起こす可能性のあるスポーツです。　この製品を使用する方は、重傷を負ったり、死亡する場合もあることを理解しておかねばなりません。

カヌー（パドルスポーツ）を行う場合は、以下の安全項目を必ず守るようにして下さい。

■このモデルに合わせたカヌー（パドルスポーツ）レッスンを受けて下さい。
■救急処置法と救急訓練を常に心がけ、それに必要な救急箱、救急道具等を保持して下さい。
■必ず体に合ったライフジャケット（救命胴衣）を着用して下さい。
■必要に応じてヘルメットを着用して下さい。
■水温や気温が低いと危険な低体温症をおこす恐れがあります。
天候に合わせた服装をして下さい。
■毎回使用前には、カヌー本体・パドル・ライフジャケットのほか安全装備（浮力体）を点検し、破損個所・故障の兆候を発見した場合は使用を停止し、適切な修理を施すか、または、お買い求めの販売代理店・弊社笠置工場（0743　－95－2507）までお問い合わせ下さい。
■１人でカヌー（パドルスポーツ）をしないで下さい。
■水かさが増している時のような悪条件下では、使用しないで下さい。
■水量・水位・干満・潮流・天候・風力・風向の変化に注意して下さい。
■見知らぬ場所、不確かな場所では、事前に調査して下さい。
■自分の能力、技術以上の行動は慎んで下さい。
■健康上問題のある方は、カヌー（パドルスポーツ）を始める前に医師にご相談下さい。
■飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用・服用してカヌー（パドルスポーツ）を行わないで下さい。
■乗艇・脱艇の妨げになるような改造・艇装・積載をしないで下さい。
■この製品を使用する前は必ず取扱説明書を良く読み指示に従って下さい。
■カヌー（パドルスポーツ）は危険を及ぼす可能性のあるスポーツであるということを十分理解し、ご注意下さい。

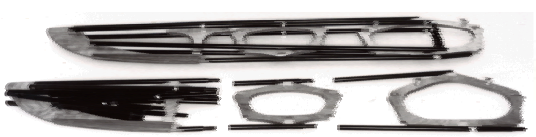
フレーム構造





パーツをご確認下さい。（購入後長期間たった場合有償になります。）

①	船体布	×１
②	フロントメインストラクチャー	×１
③	リヤーメインストラクチャー	×１
④	フロントサブストラクチャーNO１	×１（400・480・430・500 のみ）
⑤	リヤーサブストラクチャーNO１	×１（400・480・430・500 のみ）
⑥	フロントサブストラクチャーNO２	×１
⑦	リヤーサブストラクチャーNO２	×１
⑧	キールテンションバ（センターフレーム付）	×１
⑨	ガンネル（サイド）テンションバー	×２
⑩	コーミング芯板　前（小）	×２
⑪	コーミング芯板　後（大）	×２
⑫	チャインバー中央	×２
⑬	インナーストリンガー	×２
⑭	フロアーボードフロント　（大）	×１
⑮	フロアーボードリヤー　　（小）	×１
⑯	フットマット	×１
⑰	シート	×１
⑱	リペアクロス・接着剤	×１
⑲	エアポンプ	×１
⑳	収納ザック	×１
21	フットペダル	×２



①フロントメインストラクチャーとフロントサブストラクチャーNO1・NO2 及びリヤーメインストラクチャーとリヤーサブストラクチャーNO1・NO2 をジョイントし、しっかりロックして下さい。（”前”　”後”の表記に注意して下さい。）

②ガンネルバー及びチャインバーを展開しジョイントして下さい。チャインバーは①同様しっかりとロックして下さい。

③フレームを９０度回転し、金具（パイプガンネル金物）にはめ込みガンネルパイプと固定。

＊ 金具の角度に注意して下さい。また、リブフレームは”前””後”の印がコーミング側（船体中央側）から見える位置にセットして下さい。

＊シーショア５００・スペリオ４８０は、ベルトがついていますが、このベルトでフレームを４本（ガンネル２本、チャイン２本）を巻いてガイドから外れない様にしっかり固定します。

＊ 船体布は「ＦＵＪＩＴＡ　ＣＡＮＯＥ」のマークがある方または、開口部が卵形に広くなっている方が後ろ（リヤー・スターン）です。

④リヤーストラクチャーを挿入する。

⑤フロントストラクチャーを挿入する。

注）リヤストラクチャーの方が、フロントストラクチャーよりも少し長いので、組立時はリヤ側から先に挿入した方がセッティングしやすいです。また、分解時は、フロント側から出してやる方が分解しやすいです。

⑥注）④⑤の作業が難しい場合、上図のように船体中央側ののリブフレーム（一番大きいもの）をセットせずガンネルバー、チャインバー４本を両手でつかみしならせて、ちじめて挿入してください。挿入後、船体布のなかでフレームを展開しセットしてください。

⑦キールテンションバー（センターリブ付き）・ガンネルテンションバーをセットします。
＊キールテンションバーを足で踏み跳ね返らないようにしながらセンターフレームを９０度回転させます。
⑧チャインバー中央部をセットします。
＊チャインバーをセットする際､リブフレームのガイドから外し､キール側に寄せてセットし、
　その後ガイド（溝）に戻してください。
＊チャインバーは先ず内蔵されているゴムロープを“ Ｚ ”字型に引き出し端部をセットしてから中央部をスライドさせます。

⑨インナーストリンガーを１・２・３の手順でセットし、サイドテンションベルト４でガンネルパイプがガイドから外れないようにしっかり締め固定します。（ベルトはガンネルパイプの上から出し、ストリンガーを巻きつけます。）
＊ストレッチ部が前側です。

１（後側）

２（中央部）

３（前側）

４（ベルト固定）

⑩フロアーボードをセットします。

＊大きい方が前側です。　後側は、シート底部のベルトに通し下さい。

＊シートの前側に付いているマジックテープでセンターフレームに固定してください。

＊フットマットは、コーミング前側下フレームの前側にマジックテープで固定してください。

⑪コーミング芯板を差込む。（既に差込んであります）

＊メインテナンスの時船体布を裏返す必要がありますが、その場合芯板を外さないと作業がしにくいことを理解しておいて下さい。

⑫エアチューブに空気を入れて完成。（船体布のしわが取れピンと張るまで）

＊ 分解は先ず、チューブの空気を抜きテンションを外してからセッティングの逆の手順で行って下さい。

＊ キールテンションを外す前に、必ずチャインバー中央を外して下さい。
万一逆にした場合は、再度キールテンションをかけてからチャインバー中央を外して下さい。

＊ 使用後のメインテナンスは、真水でよく洗い（特に海水使用時）、乾燥させ、金属部分は市販の「クレ５５６」などの油をスプレイしてふき取っておいて下さい。